

# インナー大会プレゼン部門 2018 専用企画シート

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

大学名 (フリガナ)	学部名 (フリガナ)	所属ゼミナール名 (フリガナ)
フリガナ) リツショウダク イカク	フリガナ) ケイザク イカク	フリガナ) カク イカク
立正大学	経済学部	川口ゼミ

※大会申込書時に記入したチーム名から変更することはできません。

※パワーポイント内に動画を使用している場合は「有・無」を記入し、「有」の場合は使用するスライド番号も記載してください。

チーム名 (フリガナ)	代表者名 (フリガナ)	チーム人数 (代表者含む)	PPT 内動画 (有・無)	動画使用 スライドページ
フリガナ) ビーチーム	フリガナ) ヨシダ アツシ	4	無	
B チーム	吉田篤史			

※当日使用する PC、マイク、レーザーポインター機能付きワイヤレスプレゼンターは会場に準備しております。

これらは個別にご用意いただいても大学施設・設備の関係上ご利用いただけませんのであらかじめご了承ください。

発表時に使用する成果物 (例: 商品化した●●、店舗で配布したパンフレット、調査時に使用したアンケート)

※成果物の配布は、『禁止』とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

## 研究テーマ (発表タイトル)

観光都市鎌倉における防災対策～日蓮宗の寺院を通じて～

※必ず<企画シート作成上の注意>を確認してから、ご記入をお願いいたします。

### 1. 研究概要 (目的・狙いなど)

近々、日本では東日本大震災に匹敵するくらいの巨大地震である南海トラフ巨大地震がくると予想されています。2020 年に東京オリンピックが開催される上で、首都圏には多くの観光客が増えるので、さらに地震による被害が拡大する可能性があります。そこで私たちは首都圏の中で最も被害が大きいと予想されている神奈川県に視点を置き、中でも観光地とされている鎌倉市を中心に調べ、少しでも地震の被害を抑えたいと考えました。鎌倉市をケースに防災の取り組み方について考え、その防災の取り組みを通じて鎌倉市の防災意識を強めたいというのが私たちの研究の目的です。

### 2. 研究テーマの現状分析 (歴史的背景、マーケット環境など)

鎌倉市には数多くのお寺がありますが、地震や災害が起きたときに避難する指定避難場所とされているお寺は、鶴岡八幡宮と葛原岡 (くずはらおか) 神社の 2 つしかありません。寺社は、周囲を見渡す場所にあるべきという思想から、歴史的に高台に立地する傾向がありました。津波の多い地域においては、自然災害から免れるため意図的に高台へ寺院を建立したとも考えられてい

ます。地盤も安定しており避難場所には最適だと思われます。しかし鎌倉には寺院がたくさんあるのにも関わらず避難場所とされているところが少ないです。そこで私たちは鎌倉の観光客に避難場所＝お寺という認識があるのかアンケート調査を行いました。お寺は避難場所という認識が少ないことがわかりました。そもそもお寺はどのような機能を持っていたのでしょうか？昔は、日常的に町の人たちが自然と集まり、さまざまなことが行われる場所でした。住人同士が分け隔てなく、ともに支え合い、暮らしを営むための「拠り所」だったのです。しかし、最近ではこうした人と人のつながりが希薄になり、地域の活動も少なくなってきました。

神戸大学大学院で生活空間計画を研究している永井史子さんの論文によると、寺院の機能は、第一に法事や法要など宗教活動に関係し、原則として檀家さんが参加する「固有の機能」、第二に宗教に関係のない行事や教育、自治会や地域の集会など寺院以外によっても代替可能な「非固有の機能」があります。特に非固有が減少しており、その理由としては、子供の減少、地域活動の縮小、他施設による機能代替の増加が考えられています。私たちはこの非固有の機能を利用して地域コミュニティを活性化させることが重要だと考えます。

次に、阪神淡路大震災の際に着目された「地域コミュニティ」について説明いたします。

消防庁国民保護・防災部・防災課の災害対応能力の維持向上のための地域コミュニティのあり方に関する検討会の報告書によると、地域コミュニティは、地域の災害対応能力に密接な関係を持つものとされています。こちらの図を見ていただくとわかるように、阪神・淡路大震災では、被災後瓦礫（がれき）の下から市民によって救助された人は、約 2 万 7 千人、警察・消防・自衛隊によって救助された人約 8 千人の 3 倍以上であったことなどから、大規模災害において、共に助け合う、すなわち地域コミュニティの担うべき重要な役割があることが明らかになっています。

これにより私たちは、人と人との繋がりが大事だと考えました。

### 3. 研究テーマの課題

### 4. 課題解決策（新たなビジネスモデル・理論など）

### 5. 研究・活動内容（アンケート調査、商品開発など）

鎌倉駅でのアンケート調査（寺が避難場所であるという認識があるか）

### 6. 結果や今後の取り組み

妙本寺は鎌倉にあるお寺の中でも標高が高く、南海トラフの被害予想から考えると避難場所に適していることがわかりました。今までのことから、鎌倉寺院を活用することで地域コミュニティが活性化し、人的ネットワークが機能するため、人々の防災意識が高まります。私たちは今後コミュニティを確立するために、まず日蓮宗である立正大学と鎌倉の寺院が連携してコミュニティを作るために、例えば寺カフェというものを作り、地域とお寺をその後宗派にかかわらず鎌倉のお寺、神社をふくめ人的ネットワークを作っていくと考えています。そのコミュニティを拡大するために現状分析で述べた「非固有の機能」即ち、寺カフェを代表としてお寺での祭りの開催、盆踊りなどを開催していき、お寺との関係を日常的に作っていく

それが実行できれば普段からの情報の共有は必然とし、災害の際に少しでも多くの人を救うことができるのではないのでしょうか。

## 7. 参考文献

- 人口 [https://www.city.kamakura.kanagawa.jp/soumu/toukei/zinkou\\_kyu.html](https://www.city.kamakura.kanagawa.jp/soumu/toukei/zinkou_kyu.html)
- 観光客数 <https://www.city.kamakura.kanagawa.jp/kamakura-kankou/documents/h28irikomi.pdf>
- 南海トラフ <https://matome.naver.jp/odai/2142551649603745001/2142551836505001703>
- 塩釜神社 <http://jisyu-now.com/?p=1352>
- [http://www.asahi.com/special/nankai\\_trough/](http://www.asahi.com/special/nankai_trough/)
- 指定避難場所 <https://core.ac.uk/download/pdf/43545888.pdf>
- お寺の機能 <http://www.bussien.com/saienji/community.html>
- 災害対応能力の維持向上のための地域コミュニティのあり方に関する検討会  
[http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/houdou/h21/2105/210508-1houdou/02\\_houkokusyo.pdf](http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/houdou/h21/2105/210508-1houdou/02_houkokusyo.pdf)
- 神戸大学大学院生活空間計画研究 永井史子  
「地域空間としての寺院 – その歴史変貌と展望 – 」<http://www.edu.kobe-u.ac.jp/hudev-hiraken/contents/personal/nagai.html>

### <企画シート作成上の注意>

※本企画シートは審査の対象となり、予選会・本選の前に、実行委員会から審査員(ビジネスパーソン・大学教員)の方々に事前にお渡しいたします。

※本企画シートは、「日本語」で書かれたものとし、1チーム・1点提出してください。また、インナー大会終了後、プレゼン部門にご協力いただいている日経ビジネス様(株式会社日経BPマーケティング)に大会結果ページを作成いただいております。大会結果ページにはチーム名やご提出いただいた本企画シートが掲載されます。

※本企画シートの項目に沿って、ご記入をお願いいたします。各項目に文字数制限はありませんが、1~7以外の項目を追加することは「不可」とさせていただきます。

※本企画シートは、インナー大会プレゼン部門実行委員会への連絡事項と企画シート作成上の注意を含め、4ページ以内に収めてください。実行委員会から審査員に渡す際は、A4サイズでプリントし、4ページ目までをお渡しします。

※大会参加申込み時点から、チーム編成の変更(チームの人数・交代など)は、「不可」とさせていただきます。ただし、チームメンバーの留学等やむを得ない事情でチーム編成に変更が生じる場合は、実行委員会(プレゼン局)にご連絡ください。実行委員会側で協議のうえ、ご返答いたします。なお、参加申込書提出時からのチーム名変更は「不可」とさせていただきます。

※企画内容は、未発表の(過去に他誌・HPなどに発表されていない)ものに限り、ただし、学校内での発表作品は未発表扱いとなります。

※商品写真、人物写真、音楽などを掲載・利用する場合、必ず著作権、版権の使用許諾を得てください。日本学生経済ゼミナール関東部会・日経BP社・株式会社日経BPマーケティングは一切の責任を負いません。

※書籍や新聞等の文献から引用した場合は、出典先(使用した文献のタイトル・著者名・発行所名・発行年月など)を明記してください。統計・図表・文書等を引用した場合も同様に明記してください。また、Webサイト上の資料を利用した場合は、URLとアクセスした日付を明記してください。

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

※パワーポイント内で動画を使用する場合は、必ず「有」とご記入ください。「有」の場合は使用するスライド番号も明記してください。動画を使用する際の注意事項は参加要項に記載しております。

※成果物を使用する場合は、必ず企画シートにご記入ください。企画シートにてご記入が無い場合、発表当日のご使用を「不可」とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

---

↑ **ここまでを4ページ以内におさめて、ご提出ください**